

シンポジウム

「世界哲学としてのアジア思想」

日時：2018年12月9日（日） 13:00～18:00

会場：東京大学本郷キャンパス 東洋文化研究所3階第1会議室

世界文学や世界史という新たな試みがなされるなか、哲学にもその問いは問われている。すなわち、アジア思想を単なる地域思想や地域哲学という理解を超えて、新しい普遍に寄与するものに変形し、同時に、近代の哲学をも変容させるという問いである。このシンポジウムでは、世界哲学としてアジア思想の可能性を議論し、「在来の理論」が普遍に開かれるための方法をとともに探求していきたい。

〈プログラム〉

オープニング（司会 梶谷真司） 13:00～13:15

第Ⅰセッション 13:15～14:45

・陳少明：中山大學

・ブレット・デービス：Loyola University Maryland

第Ⅱセッション 15:10～16:40

・黄鎬徳：成均館大學

・後藤絵美：東京大學

・石井剛：東京大學

共同討議（司会 中島隆博） 17:00～18:00